

おちやづけにするひいばあちゃん

はまみつ りお

ひいばあちゃんの家で、みんなでごはんを  
たべていたら、

「ほあちゃん、これどうする？」

と、おばあちゃんが聞きました。しやもじで  
はとれないごはんつぶが、おかまにくっいて  
いました。

「そこ、おいちよって。」

と、ひいばあちゃんが言いました。

「ひいばあちゃん、どうするんかな」  
と、思っていたら、おばあちゃんが、「ここにこ  
しなから、

「あとでおちやづけにしてたべるんよわ」と、  
言いました。

あたしのひいばあちゃんは、九十三さいで  
す。あたしとたん生日がいっしょです。まい  
年、あたしとひいばあちゃんのたん生日は、  
いっしょにごはんをたべて、おいあひします。  
ひいばあちゃんは、あたしがあそびに行くの

を、たのしみにしていきます。ひいばあちゃんに、むかしの話もよく聞きます。今年の夏休みは、学校でけんぱくのことをならったのでひいばあちゃんに、せんそうの時のことを聞いてみました。ほうきごうににげたけど、みんなしんでしまったこと、たのしいことはほとんどなかったこと、いつももおかゆや、おいちもむぎごはんをたべていたこと。

「のこすともったいないけえお。あのころのことき思い出すと、今はなああせ」おのお。「と、ひいばあちゃんは言いました。今は、しろいごはんをまい日たべられて、しああせだと思えます。さっうしよくのときに、先生がよく言います。

「のこしたら、もったいない」  
あたしもうそう思います。外国には、たべたくてもたべられない人がいることを、テレビで見ることがあるからです。あたしも、ひいばあちゃんのように、さいごの「つづままで、のこさずきれいたべたいと思います。